

謹賀新年



新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃、皆様方には議会活動並びに交流事業等に、格別のご支援とご協力を賜り、真室川町議会を代表いたしまして厚く御礼を申し上げます。昨年を振り返りますと、まさに激動する政治の年であったと思っております。長く続いた政権から新政権となり、そしてまた政権交代となりました。政権交代は、厳しい現状から若干でも前進したいという希望を見出すための国民の審判の結果であります。

政府は、景気浮揚、デフレ脱却を目指すべく諸対策を講じているようでありましたが、未だ癒えることのない東日本大震災の被災者の方々の思いを感じていただきたい。今年こそは復興・復興に取組むことにより、被災者の方々には、生きる希望を見つけることが出来るものと確信し、そのような思いで新年を迎えたいと考えております。

さて、当議会といたしましては、町民の皆様のご協力により第3回目の議会報告会を行うことができました。開催場所を2ヵ所増やしまして町内7ヵ所で開催させていただきました。回答につきまして、昨年中に区長回覧にて報告をさせていただきました。町民の皆様からのご意見、ご要望について、今後の議会活動を通して町政に反映させていく所存であります。また、議会活性化の取組みの一つとして、議員定数の適正化について2年半の歳月をかけ検討を重ねてまいりました。その結果、昨年の12月定例会におきまして、議員定数を1人減の11人とすることに決定いたしました。来る3月24日投票予定の町議会議員選挙から適用となります。

議員として町民の安心、安全な生活が保障されるよう身近な存在であることは当然であり、めまぐるしく変化する社会情勢の中、町民ニーズに敏感に 대응することができるようスピード感をもって努力してまいります。結びに、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、議会を代表いたしまして新年のあいさついたします。

真室川町議会議長 佐藤 忠吉

本年もよろしく
お願いいたします



議員 名村 肇



議員 大友 又治



議員 佐藤 正美



議員 佐藤 一廣



副議長 五十嵐 久芳



議員 外山 正利



議員 佐藤 勝徳



議員 佐藤 成子



議員 佐藤 正



議員 高橋 保

12月定例会

障がい者自立支援費等 5,553万円増額

一般会計

平成24年度

定例会のあらまし

平成24年度 一般会計(補正後) 総額54億9,000万円です

12月定例会は12月12日から14日までの3日間の会期で開かれ、平成24年度一般会計補正予算の議案、議員発議(議員定数条例一部改正案※詳細についてはP12参照)を慎重に審議し、原案の通り可決されました。

◇平成24年度真室川町一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額54億3,447万円に5,553万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ54億9,000万円と定める。

問、障がい者自立支援費3,000万円補正の要因は。

福祉課長

従来は児童デイサービスが1人増、共同生活援助(グループホーム等)が2人増、就労継続支援A型が5人増、補装具費の金額の高い義足の申請があつたことなど利用者の増と、児童デイサービスの放課後等デイサービスに変わり職員体制加算等の制度改正等によるもの。

産業課長

農地を、人農地プランに位置づけられた中心的な担い手に、6年以上賃貸等の所有権設定をする場合に交付するもの。面積が5反歩以下の30

万円、5反歩を超え2町歩以下の50万円の2件で集積農地は大池と春木であり未整備地内の田である。

算化した方が、要項上合致しないこととなり、更新を断念し、現システムを軽微な修繕をしながら使用するものとしました。

問、避難所の点検見直しは。

答、避難所の点検見直しは、公民館分館に対する耐震改修の補助金が無い。現在、防災座談会を希望している公民館からの改修要望は無い。避難所改修の補助金を国・県等に要望したい。

①避難所機能強化事業55万円の増額。
②工事請負費2,760万円減額の増額。
③備品購入費780万円の増額。
④負担金、補助金及び交付金145万円の減額。

③避難所となる公民館に、発電機、投光器、ガソリン携行缶、コードリールを配備して避難所の機能を高めるもの。防災行政無線設備の備品購入費も含む。

問、避難所の点検見直しは。

答、避難所の点検見直しは、公民館分館に対する耐震改修の補助金が無い。現在、防災座談会を希望している公民館からの改修要望は無い。避難所改修の補助金を国・県等に要望したい。



防災力基盤強化事業(矢の沢公民館)